

## 令和8年度 第1回・第2回原子力災害医療 中核人材技能維持研修（QST）

### 募集要項

本研修は、令和8年度原子力災害対策事業費補助金（原子力災害医療実効性確保事業）（以下、「補助金事業」という。）の一環として、量子科学技術研究開発機構（本書では、「QST」という。）が対面形式で開催する「原子力災害医療中核人材技能維持研修」です。

本研修は、受講の負担を軽減しながらも、原子力災害医療中核人材研修（以下、「中核人材研修」という。）で習得した知識や技能を適切に維持するために、令和6年度から各高度被ばく医療支援センターで開催することになった研修です（今年度の開催予定は最終ページを参照下さい）。

現在、原子力災害医療に関する研修は、基礎→専門→高度専門へとステップアップする新研修体系のもと開催しています（図1）。また、被ばく医療は非常に稀な事象であり、日々の業務で実践する機会が少ないことから、知識や技能を再確認、再取得することが望ましいと考えられています。そのため、原子力災害医療研修修了者には認定期間があります。修了証の有効期限は修了日の3年後の年度末となっており、中核人材研修の認定期間更新には、期限内に本研修を受講もしくは中核人材研修を再受講することが必要となります（図2）。

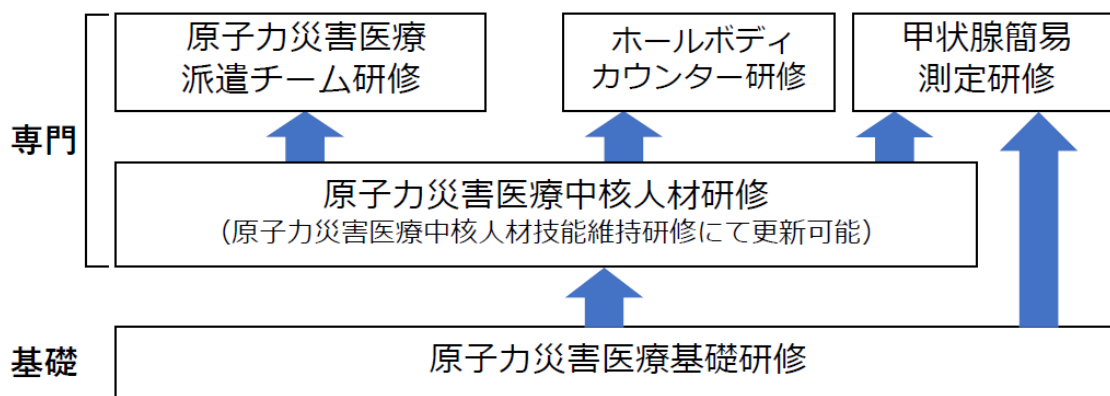


図1. 原子力災害医療研修のステップアップ体系

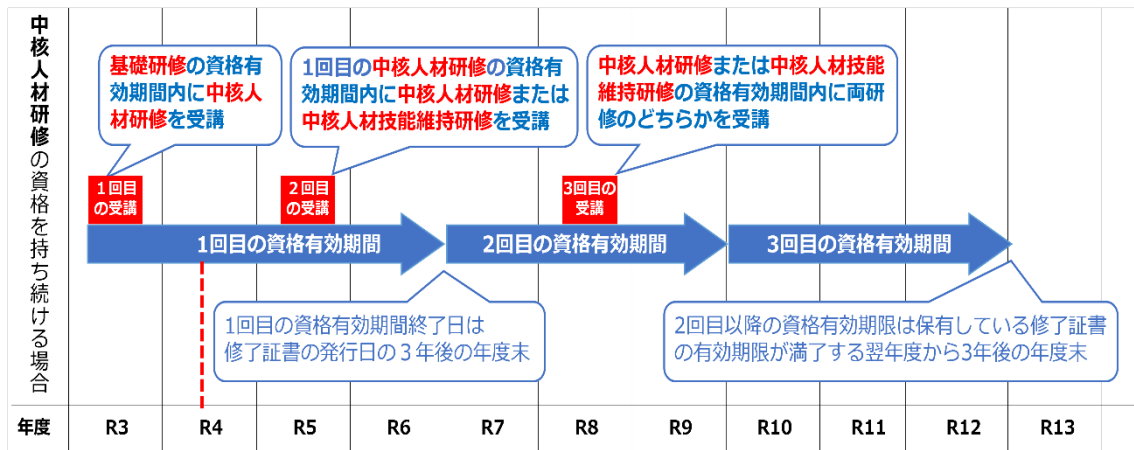


図2. 中核人材研修修了資格更新の受講例

詳細は、QSTの「原子力災害医療研修」ホームページをご参照ください。

<https://www.qst.go.jp/site/nirs/rem-training.html>

## 1. 目的

「原子力災害拠点病院」は、災害拠点病院であることを要件として指定されることとなっており、24時間緊急対応し、災害発生時に被災地の傷病者などの受入れを行う事が可能な体制が求められています。

本研修は原子炉施設などが立地する道府県などにおいて、原子力災害が起きた際にも医療拠点となる病院として機能できるように、放射線による被ばくや放射性物質による汚染を含む被災者の受入れ対応などについて高度・専門的な知識と技能を再確認およびブラッシュアップすることで中心的役割を担える人材の養成を目的とする専門的な教育研修です。

※「原子力災害拠点病院」の指定要件については、「原子力災害拠点病院等の役割及び指定要件」(令和7年10月原子力規制委員会決定)を参照してください。

## 2. 対象者

原子力災害拠点病院もしくはその候補となる病院及び原子力災害医療協力機関(ただし、「原子力災害医療協力機関に求められる機能(7項目)」のうち、原則として、「A:被ばく傷病者等の初期診療及び救急診療を行えること。」または、「C:「原子力災害医療派遣チーム」を保有し、その派遣体制があること。」に該当する機関に限る)の医師、看護師、診療放射線技師などのうち、令和3年4月以降開催の原子力災害医療中核人材研修、原子力災害医療中核人材技能維持研修のいずれかを修了しており、かつ当該研修の修了資格が有効期限内の方、または令和2年度以前の中核人材研修(相当の研修を含む)の修了者で令和5年度に原子力災害医療基礎研修を受講修了し、特例的に修了資格が延長された方。

### 3. 募集人数及び研修日

募集人数 20名

研修日 原則1泊2日の宿泊研修

第1回 令和8年5月19日(火)～5月20日(水)

第2回 令和9年2月9日(火)～2月10日(水)

### 4. 実施場所

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号(最寄り駅 JR稲毛駅)

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 研修棟

アクセス <https://www.qst.go.jp/site/about-qst/1315.html> (QST ホームページ)

### 5. 研修内容

別記 プログラム(案)のとおり。

到達目標

- ・現場での除染処置がなく、汚染の程度が不明な患者でも受入れる事ができる。
- ・原子力災害拠点病院における医療チームの中心的メンバーとなる事ができる。
- ・被ばく・汚染した患者に関し、自身の病院で何が対応可能か、何を院外に依頼するかを判断できる。

カリキュラムの特徴

- ・複合災害、大規模災害などによる原子力発電所の事故も含め、原子力災害に伴う放射線事故を想定。
- ・想定問題を医療及び線量評価の面からグループ討議する机上演習。
- ・実際の被ばく医療施設を使用しての患者受入れ・除染処置等を含めた実習。

修了認定基準

- (1)すべての講義およびすべての実習と机上演習を受講すること。
- (2)ポストテストの正答率が80%以上であること。これに満たない者には正答とその理由を解説したうえで、再テストを行う。

### 6. 受講料

無料。

本研修は原子力災害時の医療体制整備に資する為、補助金事業の一環として実施され、原子力災害時の医療拠点となる病院の中核人材など養成のための教育研修と位置付けられています。

## 7. 交通費・宿泊費について

QST の旅費規程に従い交通費及び宿泊費を支給いたします。

旅費支払いに関する情報、研修日程等受講に必要な諸事項を示した書類は、受講決定後にお知らせいたします。交通機関や宿泊施設のご予約については、送付された書類をよくご確認ください。

## 8. 申込要領

申込期間 第1回 令和8年月3日30日(月) ～ 令和8年4月24日(金)  
第2回 令和8年3月30日(月) ～ 令和9年1月9日(金)

申込方法

- ・被ばく医療研修ポータルサイトより申し込んで下さい。(「入力操作の手引き」参照)
- ・新規アカウント登録(個人情報入力)時に、「原子力災害医療に関する研修受講履歴」があれば忘れずにご記入ください。受講資格の判断材料となります。

ポータルサイト <https://retms.nirs.qst.go.jp/>



研修テキスト

- ・以下の URL からファイル形式を選んでダウンロードできます。

<https://www.qst.go.jp/site/nirs/nuclear-emergency-medicine-text.html>

## 9. 受講決定通知

- ・研修開始日の2週間前までに所属長及び本人宛の結果をメールで通知します。応募者多数の場合には受講者数を調整させて頂くことがあります。(先着順ではありません)

受講決定通知が届かない場合は問合せ先までご連絡ください。

- ・新型コロナウイルス感染症拡大などの事情によっては研修の中止、中断があることもご理解をお願いいたします。
- ・受講決定後でも社会通念上相当とする理由がある場合は研修の取りやめ、受講決定取り消し、受講辞退受付の場合があります。

## 問合せ先

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号  
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構  
放射線医学研究所 原子力防災推進部 人材育成・研修課  
TEL: 043 (379) 7808  
E-mail : [hibaku-training@qst.go.jp](mailto:hibaku-training@qst.go.jp)

### 個人情報の取り扱いについて

申込に際してご記入いただきました氏名、住所、口座番号などの個人情報は当機構の個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い、原子力災害対策指針に基づく原子力災害時における医療体制などの整備に向け、本研修の受講記録として管理・保管すること及び、下記の利用目的以外では一切使用いたしません。

- ① 原子力施設立地・隣接道府県、原子力規制庁、高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センターからの受講記録照会のため
- ② 受講者への連絡のため
- ③ 講師への情報提供のため
- ④ 研修終了後のフォローアップのため
- ⑤ その他研修業務の遂行のため

※被ばく医療研修ポータルサイトのサイトポリシーもご参照ください。

令和8年度 中核人材技能維持研修 プログラム  
 第1回 令和8年5月19日(火)～5月20日(水)  
 第2回 令和9年2月9日(火)～2月10日(水)

1日目			内容
12:30	- 12:50	0:20	受付
12:50	13:00	0:10	研修に関するご案内
13:00	- 13:15	0:15	開講式
13:15	- 13:20	0:05	追加講義 5分で思い出す被ばく医療
13:20	- 13:40	0:20	講義1 原子力災害拠点病院・原子力災害医療協力機関の立ち位置と役割
13:40	- 14:00	0:20	講義2 医療機関での初期対応(医療・放射線管理)
14:00	- 14:10	0:10	休憩
14:10	- 14:30	0:20	講義3 放射線障害の診断治療と線量評価
14:30	- 14:45	0:15	講義4 原子力災害医療の最新動向 (指針・ガイドライン等の update 情報)
14:45	- 15:10	0:25	追加講義 甲状腺詳細検査と甲状腺モニター
15:10	- 15:20	0:10	休憩・移動
15:20	- 17:20	2:00	机上演習
2日目			内容
8:30	- 8:45	0:15	集合・準備
8:45	- 9:00	0:15	移動
9:00	- 9:40	0:40	要素実習 除染
9:40	- 9:50	0:10	休憩・移動
9:50	- 10:30	0:40	要素実習(放射線測定器取り扱い・傷病者の汚染検査)
10:30	- 10:40	0:10	休憩・移動
10:40	- 12:40	2:00	総合実習 被ばく・汚染傷病者対応 (養生・個人防護装備着脱を含む)
12:40	- 12:50	0:10	休憩・移動
12:50	- 13:10	0:20	ポストテスト・解説 研修全体における質疑応答
13:10	- 13:20	0:10	閉講式

※プログラムは随時見直されていますので、若干の変更があることをお含みおきください。  
 ※実習は予定時間より延びることがありますので、あらかじめご承知おきください。

令和8年度 原子力災害医療中核人材技能維持研修の開催予定  
(令和8年4月1日現在)

開催機関	開催予定日
QST	5月19日(火)～20日(水)
	R9年2月9日(火)～10日(水)
弘前大学	未定
福島県立医科大学	7月25日(土)
	12月10日(木)
福井大学	11月8日(日)
広島大学	7月27日(月)～28日(火)
	R9年2月8日(月)～9日(火)
長崎大学	R9年1月22日(金)～23日(土)

※開催スケジュールは今後変更になる可能性がありますので、詳細情報の確認は、被ばく医療研修ポータルサイトをお願いします。

<https://retms.nirs.qst.go.jp/>

